



社会福祉法人 済生会支部
大分県 済生会 日田病院 広報誌「なでしこ」(巡回通信誌)

2023
新年度号
vol.03

4~6月

なでしこ

NADESHIKO

Oita Prefecture Saiseikai Hita Hospital

<https://saiseikai.hita.oita.jp>



済生会まほろば 訪問看護ステーション開設



社会福祉法人 済生会支部 大分県 済生会

済生会まほろば
訪問看護ステーション



特集：なでしこ interview

脳神経外科部長 中島 慎治

インタビュー：倉掛 真紀子

(画像診断部 診療放射線技師)

INDEX

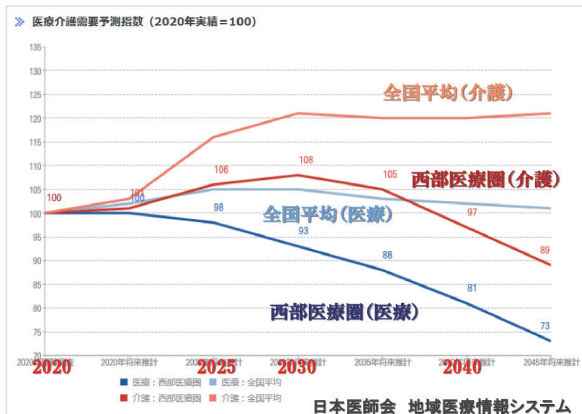
- 2 | コラム：日田・玖珠地域の未来と私たちの役割(新年度ご挨拶)
- 3 | トピックス：訪問看護ステーション開設について
- 4 | トピックス：困った時の相談窓口 がん相談支援センター
ドクター紹介：外科医長 橋口 俊洋

- 5-6 | 特集：なでしこ interview / 脳神経外科部長 中島 慎治
「脊髄刺激療法(SCS)について」
- 7 | 連携医療機関紹介記事「大河原病院」・ID LINK
- 8 | インフォメーション：無料又は低額診療のご案内
令和5年度 上半期巡回診療事業計画のお知らせ

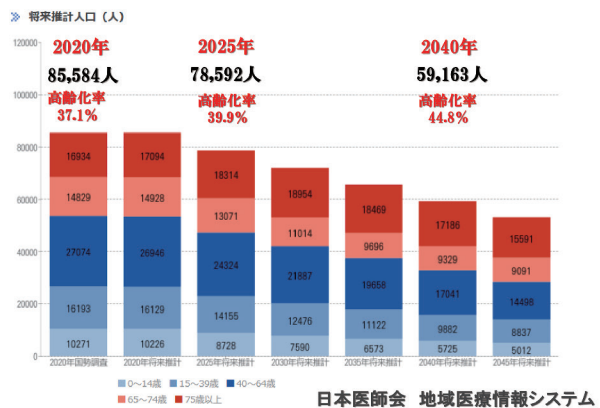
日田・玖珠地域の未来と私たちの役割

昨年の11月から始まった新型コロナウイルス感染症第8波が収束し、令和5年度が始まりました。この3年間、新型コロナウイルス感染症対応に追われ、病院全体が浮足立っていたように思います。新しい年度をスタートするにあたり、地に足をつけ、大分県西部医療圏(日田市、玖珠郡)唯一の公的病院であり、日本最大の社会福祉法人済生会の一員でもある当院が人口減少、少子高齢化が加速していくこの地域の将来を見据えて、果たすべき役割を改めて考えてみたいと思います。

(グラフ1) 西部医療圏医療介護需要予測 (2020年実績:100)



(グラフ2) 西部医療圏年代別人口将来推計(2018年推計)



(グラフ1)は大分県西部医療圏における医療と介護需要の将来を予測したものです。医療需要は2020年を100とすると2025年には98、2030年には93、20年後の2040年には81と徐々に減少していくと予測されています。これはこの地域の急激な人口減少が主な原因と考えられます。2020年に85,584人であった大分県西部医療圏の人口は2040年には59,163人と約30%減少すると予測されています。(グラフ2)

一方、介護需要は2020年を100とすると2025年には106、2030年には108といった増加、その後、次第に減少していくと予測されています。年少者人口(15歳未満の人口)や生産年齢人口(生産活動の中核をなす15歳以上65歳未満の人口)が今後、急激に減少していく一方、介護需要が高い65歳以上の高齢者の人口がこの間わずかしか減らないことが原因です。

人口減少、少子高齢化は経済を低迷させて格差社会、貧困層の増大に拍車をかけることとなります。医療、介護難民の増加が危惧されます。済生会が実施している無料低額診療のニーズは増え、地域住民の命を守るため、益々重要性を増すものと考えています。また、人口減少により、医療需要は減ってもへき地医療や災害医療、救急医療などの公益性が高く採算性は低い医療、がん医療や感染症医療など高度な医療機器や専門性が要求される医療は地域唯一の公的病院である当院が中心となって担っていくべきものと思います。

また、介護需要が増えていくなか、複数の傷病を抱えた高齢者の介護には医療的支援が必須です。しかしながら今回の新型コロナウイルス感染症の蔓延や九州北部豪雨に際して施設や在宅で介護を受けている高齢者への医療支援の仕組みは不十分で脆弱であることを痛感しました。医師会や行政と連携して介護を受けている方への円滑な医療支援の仕組みづくりに取り組んでいきたいと考えています。

さらには生産年齢人口が急激に減っていくなか医療、介護人材をどのように確保していくのか、医療費抑制政策が予測されるなかいかに経営的安定をはかるのかなど、課題は山積みです。年度初めにあたり、済生会日田病院のこの地域における使命、存在意義を職員全員で改めて共有し、済生会の一員であり、地域唯一の公的病院であるとの自覚をもってこれら難題にチャレンジしていきたいと思います。

大分県済生会日田病院
久留米大学医学部 臨床教授
院長(医学博士) 林田 良三





済生会まほろば 訪問看護ステーション開設

地域を支える訪問看護
済生会日田の新たな挑戦



New Open

サインデザインを
当院スタッフの
小野が作成しました!



訪問看護ステーション開設にあたって

こんにちは、「済生会まほろば訪問看護ステーション」です。
4月1日に開所しました。よろしくお祈りします。
「安心」「笑顔」「共生」、住み慣れた場所であなたらしく生きることを支えます、を理念に掲げ、地域に根ざした在宅療養の支援を行っていきたくと思っています。
看護師、理学療法士の4名で、取り組んでいきます。訪問看護を中心にいきますが、必要に応じ自宅でのリハビリテーションも提供していきます。
高齢であっても、老老介護であっても、医療的ケアが必要であっても、利用者さん、ご家族が「どこで」「どのように」生活したいのか、その思いに寄り添い、地域の多職種と協力しながら支援していきたいです。地域の中核病院としての役割を果たし、笑顔で安心して過ごせる環境を提供できるように頑張っていきます。まほろば訪問看護ステーションへ気軽にお越しください。

訪問看護ステーションについて

「病気や障がいがあっても住み慣れた場所で生活したい」「最期を自宅で過ごしたい」と望まれる方が増えています。「自宅で医療的ケアができるか不安」と思われる方もいます。
そんなときは、訪問看護ステーションへ声をかけてください。地域で生活する赤ちゃんから高齢者まで全ての年代の方が対象です。地域の関係職種の方と協力して支援していきます。



済生会まほろば 訪問看護ステーション

〒877-1292 大分県日田市大字三和643-7(済生会日田病院敷地内)
TEL.0973-28-5701 FAX.0973-28-5702

開所日：月曜日～土曜日(24時間オンコール対応)

困った時の相談窓口

がん相談支援センター

がんに関する質問や相談など、お気軽にご相談ください

国民の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなる今日、がんは国民病の一つとなりました。当院においても、がんによって通院、入院されている患者さんが多くいらっしゃいます。

当院は「がん診療連携拠点病院」に指定されています。「がん診療連携拠点病院」とは、全国どこにお住まいでも質の高いがん医療が受けられるように、厚生労働省が指定する地域のがん診療の中心となる施設です。大分県内では、大分大学医学部附属病院、大分県立病院、大分赤十字病院、別府医療センター、中津市民病院、済生会日田病院が指定を受けています。「がん相談支援センター」は上記の「がん診療連携拠点病院」に設置されている、がんに関するご相談の窓口です。

がんの診断から治療、その後の療養生活、さらに社会復帰と、生活全般にわたって疑問や不安を感じたとき、一人で悩まず、気軽に「がん相談支援センター」にご相談ください。

～どなたでも無料で利用できます～

「がん相談支援センター」は患者さんやご家族のほか、地域の方々はどうなっても無料でご利用いただけます。「がん相談支援センター」では、がんに関する治療や療養生活全般、地域の医療機関などについて医療相談員や看護師が相談をお受けします。なお、国が指定した研修を終了した相談員は「がん相談支援センター」のロゴをかたどった標記のようなバッジを着けています。

相談は、面談または電話でお受けする方法があります。



～どんなことでもご相談ください～

生活のことや、治療や療養に伴う疑問や不安を誰かに話すことは抵抗があるかもしれませんが、相談いただいた内容が相談者の同意なしに他人に知られることはありません。また、匿名でのご相談も可能です。「相談をすると、担当医がよく思わないのでは」等と心配される方もいらっしゃいますが、そんな時はそのご不安も含めて相談員にお話ください。相談員はそのお気持ちに配慮しながら相談に応じます。

お一人で悩まず、ぜひ「がん相談支援センター」をご利用ください。相談をご希望の際は下記へご連絡又は、1階受付または、病院スタッフにお気軽にお声かけください。

～がん相談支援センターでよくある相談～

- がんの治療について
- 医師の説明について
- 検査や今後の生活について
- 治療の副作用や生活面への影響について
- がんに関する情報収集について
- 様々な治療法やセカンドオピニオンについて
- 緩和ケアについて
- 医療費について
- 家族とのコミュニケーションについて
- 医療者とのコミュニケーションについて
- 周囲との関わりについて
- 就労について
- 自宅での療養・介護について
- 気持ちの落ち込みなど心のことについて
- 患者会・サロンについて 等です。

上記の他にも、相談内容は多様です。

がんに関する質問や相談はこちらから▼

済生会日田病院 がん相談支援センター
直通:0973-22-8772(平日9:00～17:00)



ドクター紹介

外科医長(令和5年2月1日着任)

橋口 俊洋

はしぐち としひろ

趣味・モットーについて できるだけ仕事は楽しく笑顔で。

私の健康法について よく眠ることです。

患者さんへ一言 できるだけ地域の皆様の健康のために働きますので、よろしくお願ひします。

開業医の先生方へ

2月より横山先生の後任で参りました。専門は外科の中でも主に呼吸器外科で診療を行ってきました。色々先生方にはご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、今後ともよろしくお願ひ致します。

特集 **なでしこ interview**

脊髄刺激療法 (SCS)について

脳神経外科部長 中島 慎治

インタビュアー：倉掛 真紀子

(画像診断部 診療放射線技師)



倉掛 先生は脊髄刺激療法という治療をされていると伺いましたが、それはどのような治療なのでしょうか。

中島部長 脊髄刺激療法はなかなかコントロールできない慢性の痛みを軽減して、患者さんの生活の質を向上させることを目的とした治療です。長期間続いていて、その他の治療で抑えられない痛みを和らげることを目的としています。

倉掛 具体的にはどのような方が対象となるのですか。

中島部長 対象となる痛みは、主に神経障害性疼痛と血行不良から起きる痛みです。具体的には脊柱管狭窄症などの痛み、脊髄損傷後の痛み、脊椎手術後に残る痛み、閉塞性動脈硬化症などの血行障害による痛み、帯状疱疹後の痛み、パーキンソン病による痛み、脳卒中後の痛み、開胸術後の痛み、四肢の切断後の痛み、糖尿病などによる末梢神経障害性疼痛などに効果があるとされています。

倉掛 かなり幅広い痛みが対象になる治療なのですね。そういった痛みをお持ちの方はかなりいらっしゃると思いますが、皆さんが対象となるのですか。

中島部長 手術などによって痛みの根本原因が解決できる場合には、その治療をお勧めします。また、少量のお薬で十分コントロールできるような場合には、積極的にお勧めすることはありません。たくさん痛み止めを飲んででも改善しない、薬を飲み過ぎていて減らしたい、副作用の影響で内服ができない、年齢や他の病気などの理由で手術が受けられない、手術をしても取れない痛みなどに治療が行うことが多いです。

倉掛 脊髄刺激療法という名前を聞いてもなかなかイメージが沸かないのですが、脊髄にどのような刺激をするのですか。

中島部長 この刺激というのは電気の刺激です。脊髄に微弱な

電流を流して刺激をすることで、痛みを和らげます。痛みは脊髄を通して脳へ伝わります。痛みの通り道である脊髄に別の刺激が加わることで、痛いという刺激が和らぐイメージです。

倉掛 痛み以外の別の刺激で痛みが和らぐのですか。

中島部長 そうです。子供の頃に怪我をして「痛いの痛いの飛んでいけ」とさすってもらったことがありますか。

倉掛 はい。少し痛みが和らいだように記憶しています。

中島部長 さすることで痛みが和らぐのは、痛み以外の別の刺激を与えることで痛みの信号を感じにくくしていると考えられています。

倉掛 痛みがやわらぐ原因がわかった気がします。

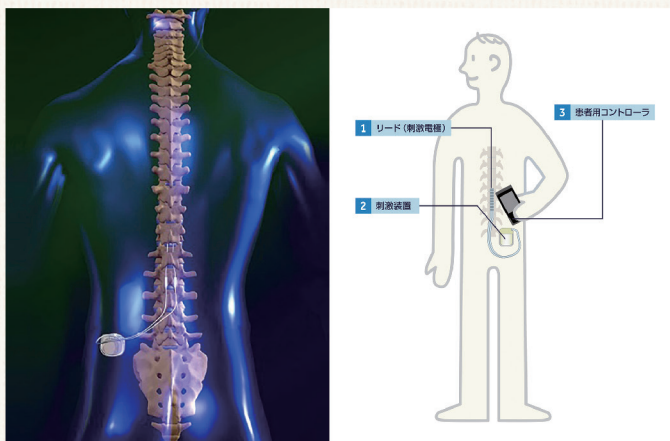
中島部長 実際にはこの理由だけでなく、電気刺激を与えることで細胞レベルでの様々な変化が起きるのですが、話が長くなりますので大まかにはそのイメージです。

倉掛 実際にはどのように脊髄に電気刺激をするのでしょうか。

中島部長 電気刺激を与える電極をリード電極といいます。痛みの部位によってリード電極を留置する場所は変わりますが、多くは腰椎辺りに針を刺して、細いリード電極を滑り込ませます。脊髄刺激療法という名前ですが、リード電極は脊髄を包んでいる硬膜という膜の外に留置するため、脊髄には直接触れません。膜の外から刺激を与えます。電極に電気を発出する装置は、臀部や腹部の脂肪の中に埋め込みます。

倉掛 電極が脊髄に直接接触するわけではないのですか。

中島部長 そうですね。また電気刺激は微弱で、ビリビリと感じたりすることはありません。



倉掛 電気を発生する装置は大きいのですか。

中島部長 ちょうどペースメーカーと同じくらいです。直径10cm程度で厚さは1cm未満です。

倉掛 そのくらいの大きさなのですね。それと電極を埋め込んでしまうのですか。

中島部長 実はこの治療はいきなり器械を埋め込むのではなく、埋め込む前に効果を試せるのです。局所麻酔で針を刺して試験的にリード電極を留置して、電気を発生する装置は埋め込まずに、体の外でベルトに挟んでおきます。その後、1-2週間かけて様々な電気の刺激パターンを試してみて、痛みが和らぐかを確認します。この試す治療をトライアル治療といいます。効果を確認して、埋め込みを希望されたら後日刺激装置も含めて埋め込み術を行います。効果があまり出ない場合には、リード電極を抜けば体には何も残りません。

倉掛 試せるのはとてもよいですね。器械の電池はどのくらいもつのですか。

中島部長 電池は刺激パターンによって大きく寿命が変わります。3から8年程度で交換が必要です。もう一つ、充電式もあります。充電式は器械を埋め込んだ部位の上にあてると充電されます。スマートフォンの置くだけで充電ができる物と似ていますね。週に1回程度、数時間充電器を器械の上にあてる必要があります。

倉掛 選べるのは良いですね。ところで刺激パターンによってと言われていましたが、色々なパターンがあるのですか？

中島部長 刺激のパターンには様々あります。何秒電気を流して何秒休むとか、数秒おきに一瞬電気を流すなど、人によって痛みが最も和らぐ刺激パターンは様々です。医師とともに最もよい刺激パターンに調整していきます。患者さん自身もコントローラを使って刺激の強さを変えることができます。

倉掛 それはいいですね。埋め込む前に試せて、ご自身で調整もできるのですか。他にもこの治療をお勧めできる良い点はあるのですか。

中島部長 脊髄刺激装置を埋め込んだ後も一部の機種を除いてMRIも撮れますし、通常の保険診療で受けることができます。一方で、体に異物を埋め込む治療ですので、標準的なリスクはあります。また、この治療は、痛みの根本原因を除去する治療ではありません。痛みが埋め込み前の半分以下なれば効果があったと判断されます。

倉掛 確かに、痛みの原因を解決する治療ではないと言えそうですね。

中島部長 そうです。痛みでお困りの方は続ける思いで受診されますが、痛みが完全に消え去る夢のような治療でないことは十分にご理解いただいて治療するようにしています。その意味でも、トライアル治療は効果を実感できるので良いと思います。

倉掛 この治療が痛みでお困りの方の治療の選択肢になるといいですね。

中島部長 どうしても器械を埋め込む治療なので最終手段と思われるがちですが、試すことができますので1つの手段として検討してみてもいいかもしれません。



Interviewer

インタビュアー 倉掛 真紀子
(画像診断部 診療放射線技師)

ドクター紹介

脳神経外科部長

中島 慎治 なかしま しんじ

趣味・モットーについて

魚釣りが大好きでよく行きます。魚料理も得意です。

私の健康法について なるべく階段を使うようにしています。

患者さんへ一言 納得して治療を受けていただけるように、わかりやすい説明を心がけたいと思います。

開業医の先生方へ

はじめまして。脳神経外科の中島と申します。地域の患者様や先生方のお役に立てるように精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

連携クリニック紹介:003



大河原病院



■病院理念 患者さまの立場に立った、医療・介護を心がけます
地域に密着した医療・介護の提供を目指します
新しい医療情報や技術を提供できるよう努力します

■診療時間 月～金 午前9:00～12:30、午後2:00～5:30
土 午前9:00～12:30

新患の患者さまの受付は、午前は12:00まで、午後は5:00まで
急患などの場合、お電話にて問い合わせ・御確認下さい

■休診日 日曜・祝祭日(輪番にて診療日あり)

大河原病院

〒877-0044 大分県日田市隈2丁目3-11
TEL.0973-22-3131 FAX.0973-24-1441
<https://okawara-hp.com/index.html>



理事長：大河原 建也 先生

産業医、認知症サポーター、おおいた糖尿病相談医、ケアマネージャー、唎酒師などの活動も
行っています。

大河原病院紹介

当院は1939年に大河原建男が日田で初めての
外科病院として開設しました。

現在は地域のかかりつけ医を目標に、外来では
外科・消化器内科を中心に、入院は医療療養型
病床として、急性期・回復期での治療後に、患者
さま自身の状態や家族の介護力などから自宅に
帰る事が困難な方もおられます。そういった
方々の受け皿として慢性期医療を提供しており
ます。また、在宅での療養もサポートする為に訪
問診療も行っています。



大分県済生会日田病院では、地域の医療機関との連携のため、
地域医療連携ネットワークを運用します。

地域医療室 E-mail renkei@saiseikai.hita.oita.jp

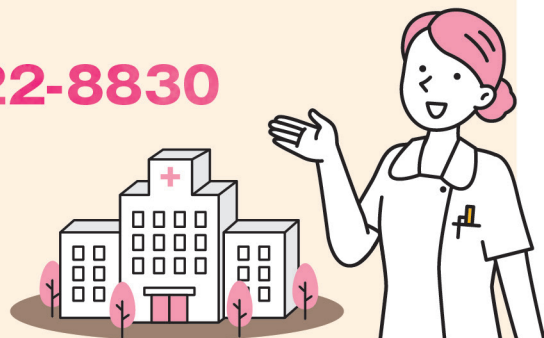
TEL.0973-22-8738 FAX.0973-22-8830

■地域医療室は、地域の医療機関との緊密な連携を確保し、診療所と病院
あるいは病院間での機能分担や機能連携を進め、住民の皆さんが身近な地域で適切な
医療を受け入れられるよう、効率的な医療システムの構築に努めています。
どうぞよろしくお願いいたします。

■医療情報連携ネットワーク「ID-Link」

(登録医療機関数 日田市19 玖珠郡4 中津市2) (令和3年度実績:191件)
連携可能項目:処方、注射、検体検査、画像オーダー、文書・レポート類、ノート、簡易サマリ

済生会日田病院での治療経過をより詳細かつ正確に紹介先の医療機関へ伝達できるよう、
当院では医療情報連携ネットワーク「ID-Link」を用いた医療情報を円滑かつ緊密に行っています。
なお、ご希望の医療機関の方はお申し付けください。



無料又は低額診療のご案内

医療費でお困りの方は、まず、ご相談ください。

済生会日田病院は、社会福祉法人の病院として、社会福祉法第2条第3項に基づき、**経済的な理由によって、必要な医療を受ける機会が制限されることのないように**、医療費の支払いに困っている方を対象に、診療費の自己負担額を減免（無料又は低額診療事業）しています。

●受診を控えたり、受診回数を減らすことのないように、まず、ご相談ください。

医療ソーシャルワーカーが相談に応じ、所定の手続き（面談・所得の確認等）を経て、本制度の適用について決定します。プライバシーは厳守します。

- 対象者例：①市町村県民税非課税世帯の方 ②市町村県民税均等割のみ課税世帯の方
 ③「限度額適用・標準負担額減額認定証」の適用を受けている方
 ④「後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証」の適用を受けている方
 ⑤「就学援助制度」の認定を受けている方
 ⑥低所得者等の生活困難者（世帯収入が生活保護基準の1.5倍までの者）



(例) 日田市在住、70歳、一人暮らしの場合：1ヶ月の生活保護基準の1.5倍は97,800円となります。年金収入等がそれを下回っている場合は当制度の該当となる可能性があります。

(但し、生活保護基準は家族構成等により変動します)

※上記は一例です。状況によって対象となる場合がありますので、ご相談ください。

利用方法：①から⑤に該当する方は関係機関からの証明書、認定証、通知書等をご提示してください。

⑥の方については、面談にて詳細な状況を確認いたします。

本人または成年以上のご家族等から、診療費減免申請書を提出していただきます。

院内の所定の手続きを経て、減免の可否について決定し、本人または成年以上のご家族等へ通知いたします。

※失業等により一時的に低所得となった場合やDV（配偶者からの暴力）を受け医療費の支払いが出来ない方、保険証が無い方でも外来診療費・入院診療費ともに相談に応じることが可能ですので、どうぞご遠慮なく医療相談員まで声を掛けください。

令和5年度

上半期巡回診療事業計画のお知らせ

無医地区名	診療所・時間	令和5年					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
東羽田高花	高花公民館 13:45~15:15	11(火)	16(火)	13(火)	11(火)	15(火)	12(火)
		25(火)	30(火)	27(火)	25(火)	29(火)	26(火)
古 後	古後生活改善センター 13:45~15:15	18(火)	23(火)	20(火)	18(火)	22(火)	19(火)

※身体のお悩みの方は、お気軽にお申出ください。

※健康保険証、医療受給者証（または高齢受給者証）を持参してください。

※病院の窓口で現金をお支払いいただくのと同様に有料です。



社会福祉法人 済生会支部

大分県 済生会 日田病院 広報誌「なでしこ」

(巡回通信誌) 2023 新年度号 [vol.03]

●誌面に関するお問合せ・情報掲載に関する

ご依頼については、[総務課内 広報誌「なでしこ」係]まで

〒877-1292 大分県日田市大字三和643番地の7

TEL 0973-24-1100 FAX 0973-22-1269